

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆さまには、日頃から町政へご協力を頂き、誠にありがとうございます。

昨年は、世界の舞台において、マラソンの前田彩里選手やバレーボールの古賀紗理那選手など、大津町にゆかりのあるアスリート達のすばらしい活躍を見せていただき、あらためて大津町における『人材』の豊かさを感じた一年でした。今後も多種多様な分野で活躍できる人材の育成を目指し、スポーツや文化、教育などの充実を図ってきたいと思います。

さて、大津町では、子どもたちの増加に伴い大津北中学校の増築や私立保育園の開園など、子育て支援の事業を展開してきました。また、保健指導の拡充を図り、スポーツとの連携を通じて、生活習慣病の予防対策や食育を指導することで、元気で長生きできる環境の整備に努めてきました。さらに、民間活力によるデイサービス施設や特別養護老人ホームなどの整備計画が進められています。引き続き本年も、住民福祉の増進と住民サービスの向上のために、民間の力も活用しながら各種福祉施設

策を実施してまいります。

また、経済面では、厳しい財政事情のなか、国、県と一体となった幹線道路や昨年開通した駅前桑善線などの生活道路の整備を進めてきた結果、本年は新たな誘致企業の話や企業の設備投資の話も進んでおり、さらなる雇用拡大に期待が膨らむところです。

また、交通の面では、阿蘇くまもと空港から、台湾高雄線と香港線の定期便が就航し、既存の韓国ソウル線と合わせてアジアの3つの主要都市と繋がりました。海外観光客の増加に伴う消費拡大はもとより、大津町海外販路拡大等推進事業実行委員会や肥後おおづ観光協会を中心として、現地での交流を重ね大津町の魅力を発信し、特産品の海外販路拡大や観光客誘致に繋がっていると思います。特に、高雄市とは小学生の交流事業などを計画し、国際感覚を身に付けた人材を育成することも、町の国際化を推進していきたいと思えます。

また、安全な生活の確保についてですが、昨年から行っています防犯灯・街灯のLED化を継続して行いつつ、防災倉庫な

どの防災施設の充実を図りながら、安心安全なまちづくりを目指します。

最後になりますが、今年、大津町は町村合併六十周年の節目の年を迎えます。今日の発展があるのも、礎を築いてこられた先人たちをはじめ、地域の町民・各種団体や企業の皆さまのおかげであり、心より感謝申し上げます。これまでの町の歴史を振り返り、これからの新しいまちづくりを考える機会として町村合併六十周年を祝う記念イベントも企画したいと思いますので、ぜひ参加をお願いします。節目の年を迎えるにあたり、大津町をさらに発展・飛躍させるためにも、町民の皆さまと協働して「人と自然、共に元氣、心かよい合うまち」のまちづくりに取り組んでいきます。本年もご支援とご協力をよろしく願います。

町民皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

大津町長 家人 勲  
副町長 徳永 保則  
教育長 齊藤 公拓

あけましておめでとうございます。

平成28年を迎え、議会を代表して謹んでごあいさつ申し上げます。町民の皆さまをはじめ各方面におかれましては、平素から町議会に対しまして温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、国内外を問わず痛ましい事件の多い一年でした。また、東京オリンピックを巡る新国立競技場の建設計画の白紙撤回（7月）や、公式エンブレムの撤回（9月）といった混乱が続き、10月には、横浜市のマンションに端を発した杭打ち工事のデータ改ざん問題などが、世間を大きく騒がせました。その一方で、10月にノーベル生理学・医学賞に大村氏、物理学賞に梶田氏の両氏が受賞され、ラグビーW杯で日本代表が歴史的快挙を果たすなど、嬉しいニュースに国民が沸きあがることもあった悲喜こもごもの一年でした。

大津町に目を移してみると、例年になく明るいニュースが多い年でした。豊肥本線の熊本・肥後大津間の開通100周年を記念して、3月には肥後大津駅周辺整備が完成するとともに、駅前桑善線が開通しました。こ

れを記念した「いちおしフェスタ」を盛大に開催したほか、4月には子ども・子育て支援新制度のスタートに併せて、新設の私立保育園が開園。7月には新たな商店街として、ふれあい散歩道商店街も設立しました。

8月の世界陸上女子マラソンでは、地元出身の前田彩里選手の快走に町が活気付きました。9月には本田技研工業(株)が生産体制を海外から熊本製作所へ移管するなど、町内企業の躍進も喜ばしい限りでした。また、大津町で77年ぶりの献穀事業（皇室に献上される米・粟の収穫）も行われ、日本古来の伝統農法を学び、食の重要性を考える貴重な機会も得られた年でした。

私たち大津町議会も、議会活性化への取り組みを着実に進め、昨年6月には休日議会を実施し、11月には住民皆さまと議会議員との意見交換会を開催するなど、開かれた議会を目指して、更に一歩踏み出すことができました。政治を取り巻く情勢も昨年は大きなうねりが見られた年であり、6月に改正公職選挙法が成立し、今夏の参院選からは18歳以上に選挙権が行使されるものとなりました。9月の安全

保障関連法の成立、そして10月のPPP（環太平洋経済連携協定）交渉における大筋合意についても、国内に大きな議論を巻きおこしました。政治が住民生活と決してかけ離れたものではなく、生活に直結している多くの問題を議論し決議するものであることの表れと言えます。

住民により身近な地方議会としての役割を認識し、町民皆さまの声を町政に届けるとともに、その声が県や国へと波及することができるよう、大津町議会一丸となって今年も取り組んでいく所存です。

最後になりますが、町民皆さまの今後ますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。

大津町議会議長 大塚龍一郎  
町議会議員

金田 英樹 豊瀬 和久  
佐藤 真二 松田 純子  
桐原 則雄 本田 省生  
府内 隆博 吉永 弘則  
源川 貞夫 坂本 典光  
手嶋 靖隆 永田 和彦  
津田 桂伸 荒木 俊彦

# 平成28年 新年のごあいさつ



大津町長 家人 勲

大津町議会議長 大塚龍一郎